

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年7月31日

新明和工業株式会社

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

2027年3月期 第1四半期 連結決算実績

- ※ 当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
- ※ 当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「中間期」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

2027年3月期 第1四半期決算

- 売上高は、1Qとして過去最高。受注高も過去2番目の水準。
- 営業利益は、中東情勢の影響△5億円の減益要因はあったものの、前年同期、社内計画いずれも上回る。

2027年3月期 通期業績予想

- 中東情勢の影響については、不確実性が高い状況ではあるものの、作動油の調達難に起因した一部製品の売上減や、塗料・部材等の調達価格上昇などを想定。
- 足元の調達状況等を踏まえて、中東情勢の影響を△10億円から△15億円に見直すも、1Q決算の為替影響(増益)などを織り込み、各利益項目は5月公表値から据え置き。

2027年3月期 第1四半期 連結決算実績 サマリー

(単位：百万円)

	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減 (増減率)
受注高	74,274	73,175	△1,098 (△1.5%)
売上高	57,665	62,708	+ 5,042 (+ 8.7%)
営業利益	1,426	2,049	+ 622 (+ 43.6%)
経常利益	1,500	2,738	+ 1,238 (+ 82.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	904	1,876	+ 972 (+ 107.5%)
受注残高	333,970	372,245	+ 38,275 (+ 11.5%)
為替レート (1USドル)	145.0円	158.6円	

前年同期比

受注高

- 「特装車」が減少したことなどから、全体では減少。
- 1Qとしては過去2番目の水準。

売上高

- 「産機・環境システム」「その他」を除く全てのセグメントで増収となり、全体では増収。
- 1Qとしては4期連続で過去最高を更新。

利益

- 営業利益は、増収による増益。
- 為替差益の増加もあり、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も増益。

2027年3月期 第1四半期 連結決算実績 セグメント別

(単位：億円)

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減
特装車	428	360	△68	256	279	+ 23	11	14	+ 2
パーキングシステム	111	115	+ 3	104	110	+ 5	8	9	+ 0
産機・環境システム	70	85	+ 15	54	52	△1	△0	△4	△4
流体	77	89	+ 12	45	51	+ 5	0	0	+ 0
航空機	31	47	+ 15	80	97	+ 17	3	9	+ 6
その他	23	33	+ 9	35	34	△0	1	1	△0
調整額	—	—	—	—	—	—	△10	△10	+ 0
合計	742	731	△10	576	627	+ 50	14	20	+ 6

2027年3月期 第1四半期 連結決算実績 利益増減明細（前年同期比）

要因別

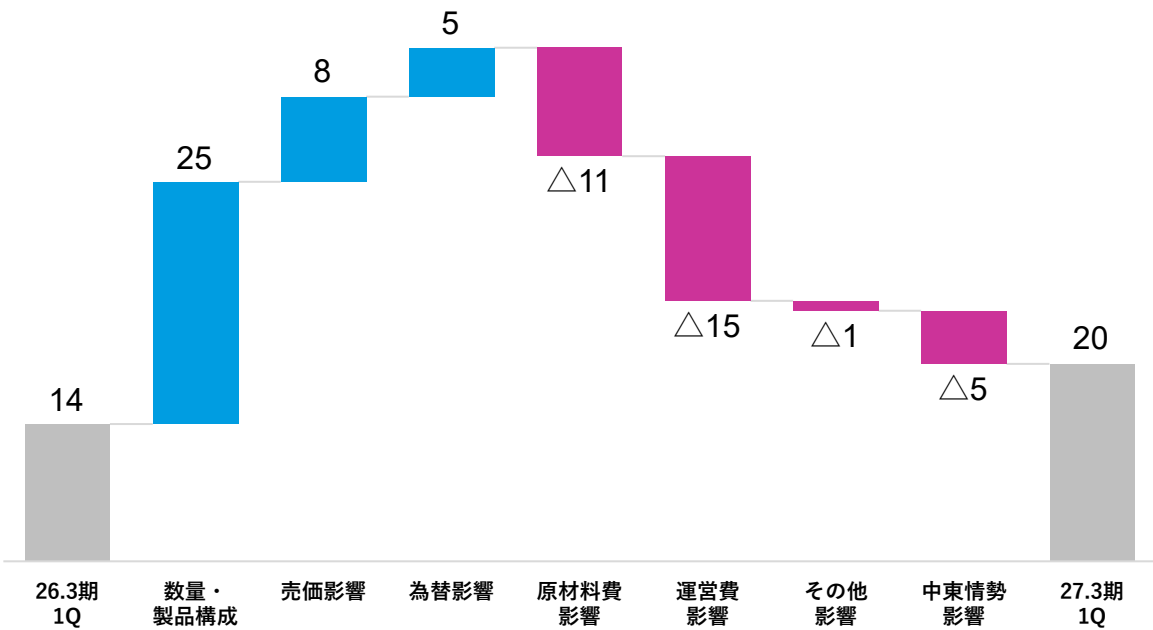
運営費増加(人件費他)△15億円や原材料費増加△11億円などの減益要因はあるも、数量・製品構成差による増益+25億円、「特装車」を中心とした売価改定効果+8億円などにより、全体では増益。

事業別

「産機・環境システム」でメカトロニクス製品および環境関連事業の減益により△4億円となったものの、「航空機」で増収および為替の円安による増益等により+6億円、「特装車」で増収による増益等により+2億円となったことなどから、全体では増益。

27.3期1Q 前年同期比

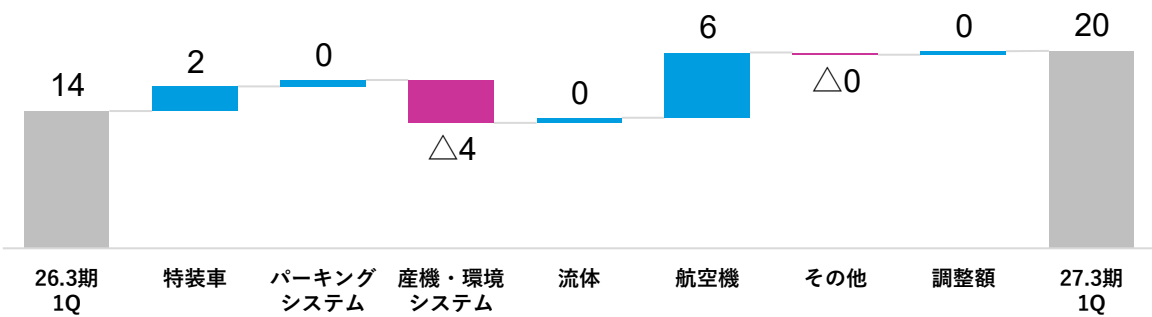
要因別



27.3期1Q 前年同期比

事業別

単位：億円



連結貸借対照表

(単位：百万円)

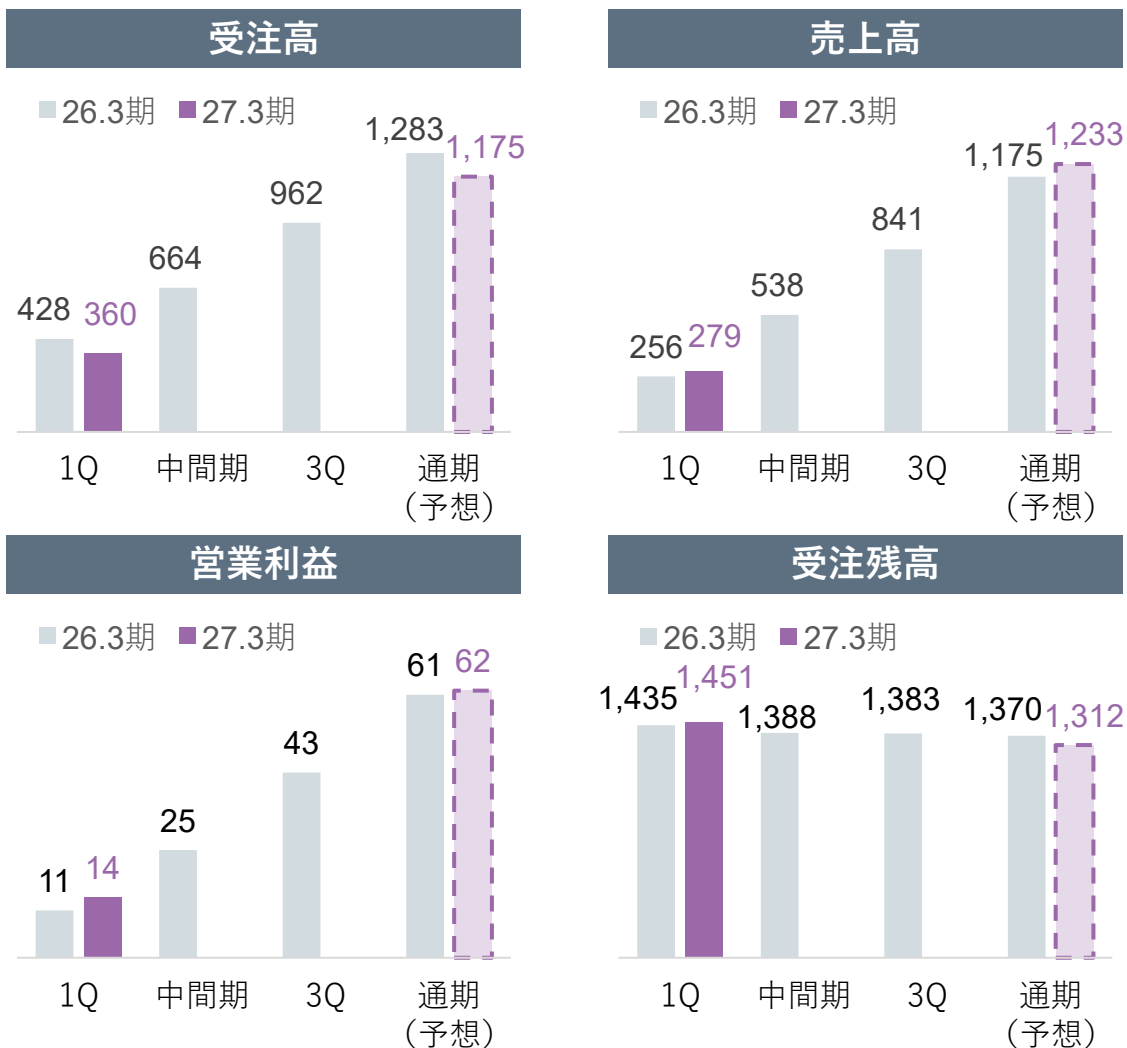
	26.3期末	27.3期 1Q末	増減
現預金	36,057	33,297	△2,760
売上債権	95,003	77,924	△17,078
棚卸資産	63,885	73,010	+ 9,125
有形・無形固定資産	55,896	57,963	+ 2,066
その他資産	45,212	44,835	△376
資産合計	296,056	287,033	△9,023
買入債務	45,212	45,481	+ 268
有利子負債	48,960	48,568	△391
その他負債	76,196	68,012	△8,183
負債合計	170,369	162,062	△8,306
自己資本	124,881	124,199	△682
その他純資産	805	771	△34
純資産合計	125,687	124,970	△716
負債・純資産合計	296,056	287,033	△9,023
自己資本比率	42.2%	43.3%	
ネットD/Eレシオ	0.10倍	0.12倍	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△6,199	1,852	+ 8,051
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,911	△2,553	+ 358
フリー・ キャッシュ・フロー	△9,111	△701	+ 8,409
財務活動による キャッシュ・フロー	8,021	△2,188	△10,209

業績推移 (単位：億円)



第1四半期実績 (前年同期比)

受注高

- 建設関連車両、環境関連車両の減少
(前年同期は、価格改定前の駆け込み受注有り)

売上高

- 建設関連車両、物流関連車両（トレーラ含む）の増加

営業利益

- 増収による増益（売価改定効果含む）

受注残高の手持月数推移

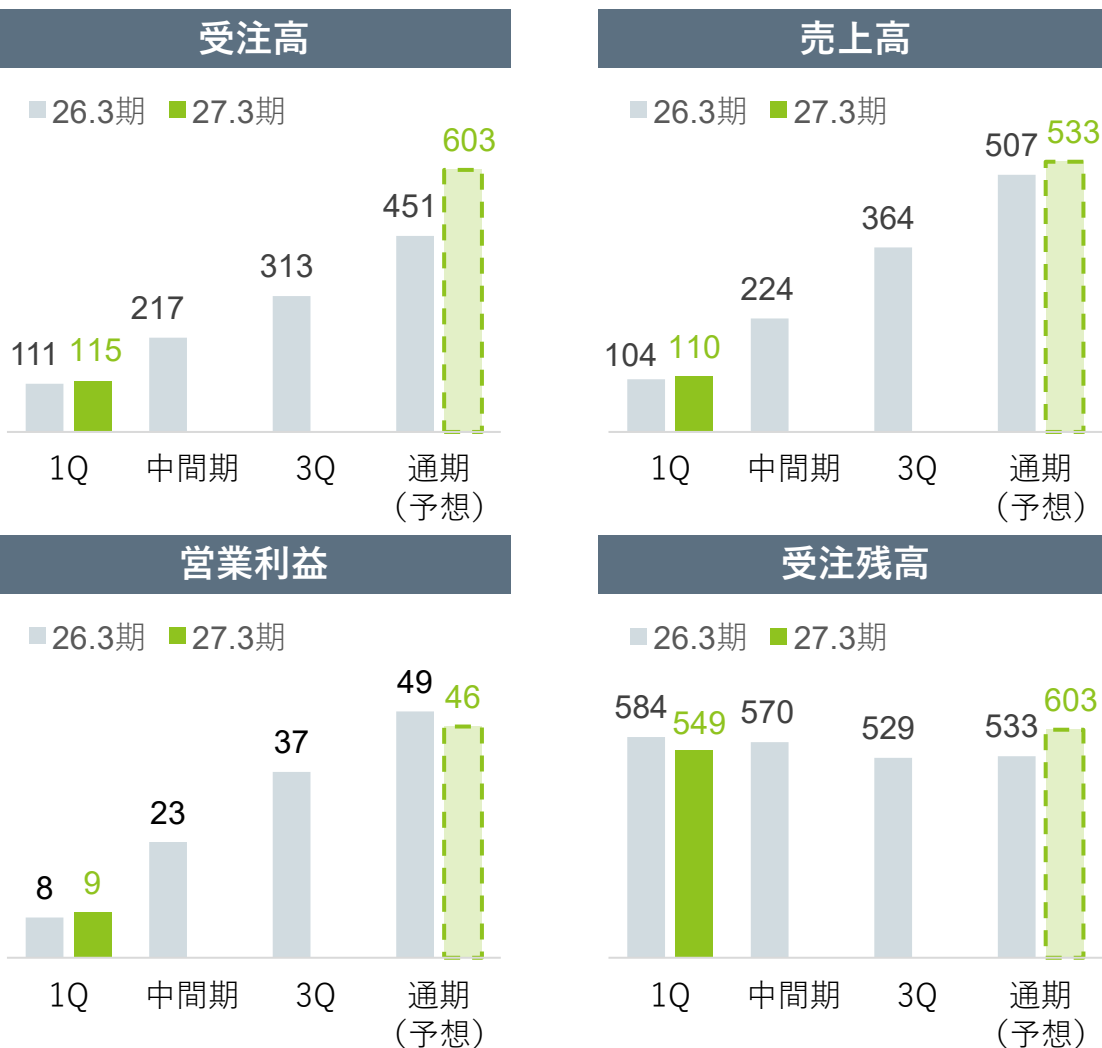
(単位：カ月) ※

26.3期				27.3期			
1Q	中間期	3Q	通期	1Q	中間期	3Q	通期 (予想)
14.4	14.1	14.2	14.0	14.1			12.8

※受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出（1Q～3Q実績は通期業績予想を基準に算出）

パーキングシステムセグメント

業績推移 (単位：億円)



第1四半期実績 (前年同期比)

受注高

機械式駐車設備：サービス事業の増加
航空旅客搭乗橋：前年同期並みの水準

売上高

機械式駐車設備：サービス事業の増加
航空旅客搭乗橋：国内、海外の増加

営業利益

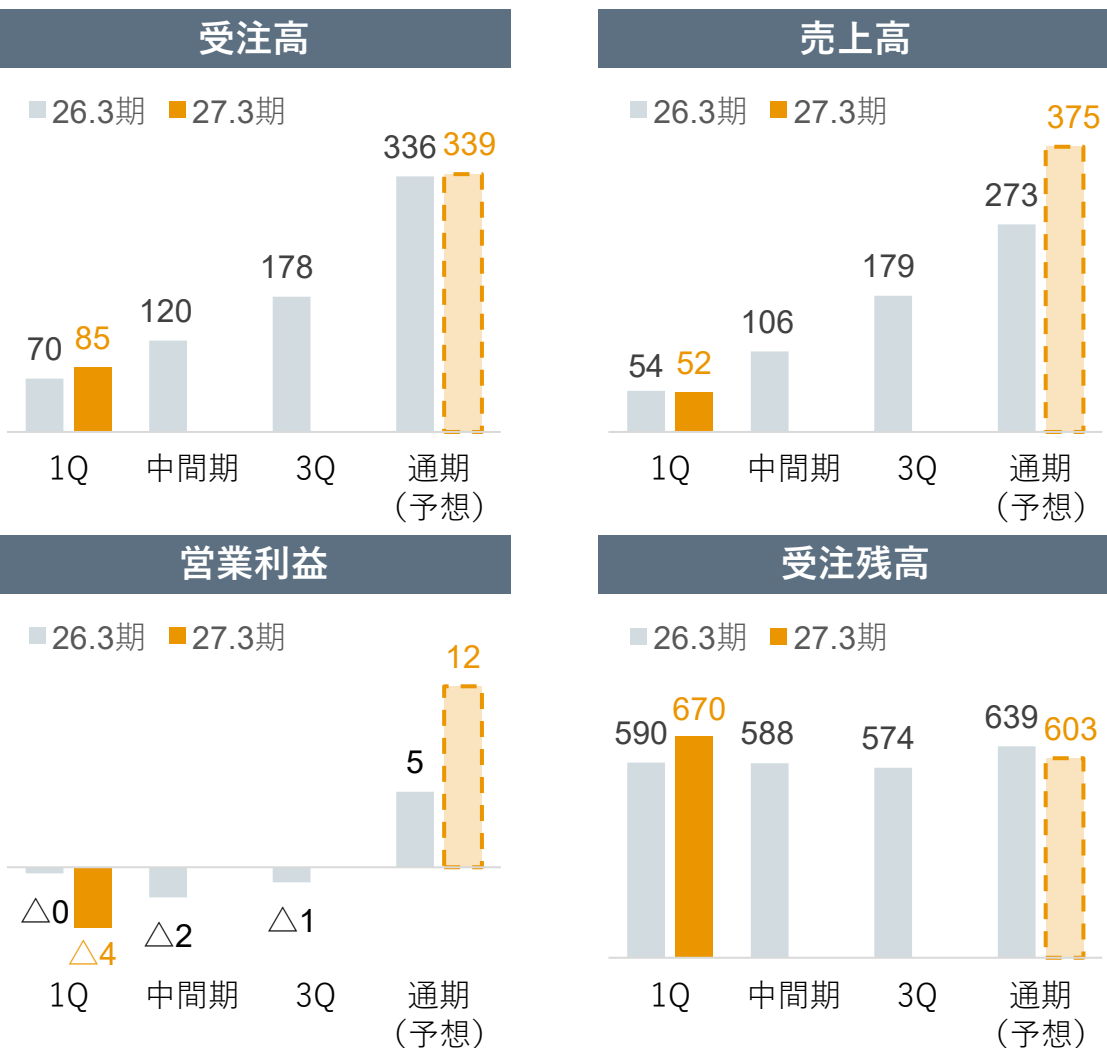
機械式駐車設備：増収による増益
航空旅客搭乗橋：運営費の増加による減益

製品別 受注高・売上高推移

(単位：億円)

製品区分		26.3期				27.3期			
		1Q	中間期	3Q	通期	1Q	中間期	3Q	通期 (予想)
機械式 駐車設備	受注高	109	213	305	426	113			496
	売上高	91	201	309	438	93			436
航空旅客 搭乗橋	受注高	1	3	7	24	1			107
	売上高	13	23	54	68	16			97

業績推移 (単位：億円)



第1四半期実績 (前年同期比)

受注高

メカトロニクス製品：線処理機、真空製品の増加
環境関連事業：プラント案件の増加

売上高

メカトロニクス製品：線処理機の減少
環境関連事業：プラント案件の増加

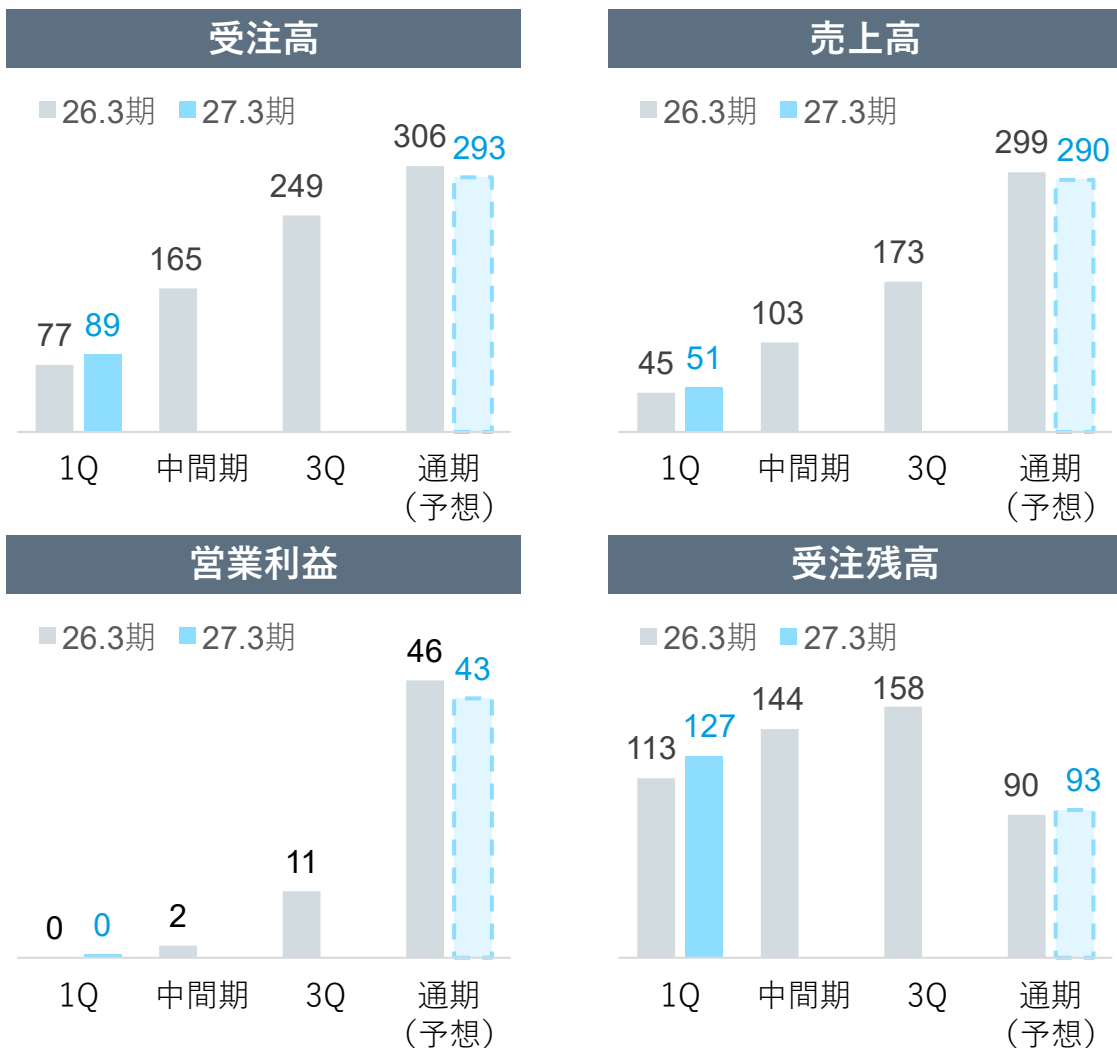
営業利益

メカトロニクス製品：減収による減益
環境関連事業：製品構成差による減益

サブセグメント別 受注高・売上高推移 (単位：億円)

サブセグメント		26.3期				27.3期			
		1Q	中間期	3Q	通期	1Q	中間期	3Q	通期 (予想)
メカトロニクス製品	受注高	21	58	102	169	28			180
	売上高	29	56	96	141	21			194
環境関連事業	受注高	48	62	76	166	57			159
	売上高	24	50	83	132	31			181

業績推移 (単位：億円)



第1四半期実績 (前年同期比)

受注高

- 国内の増加 (機器製品、サービス事業)
- 海外の増加

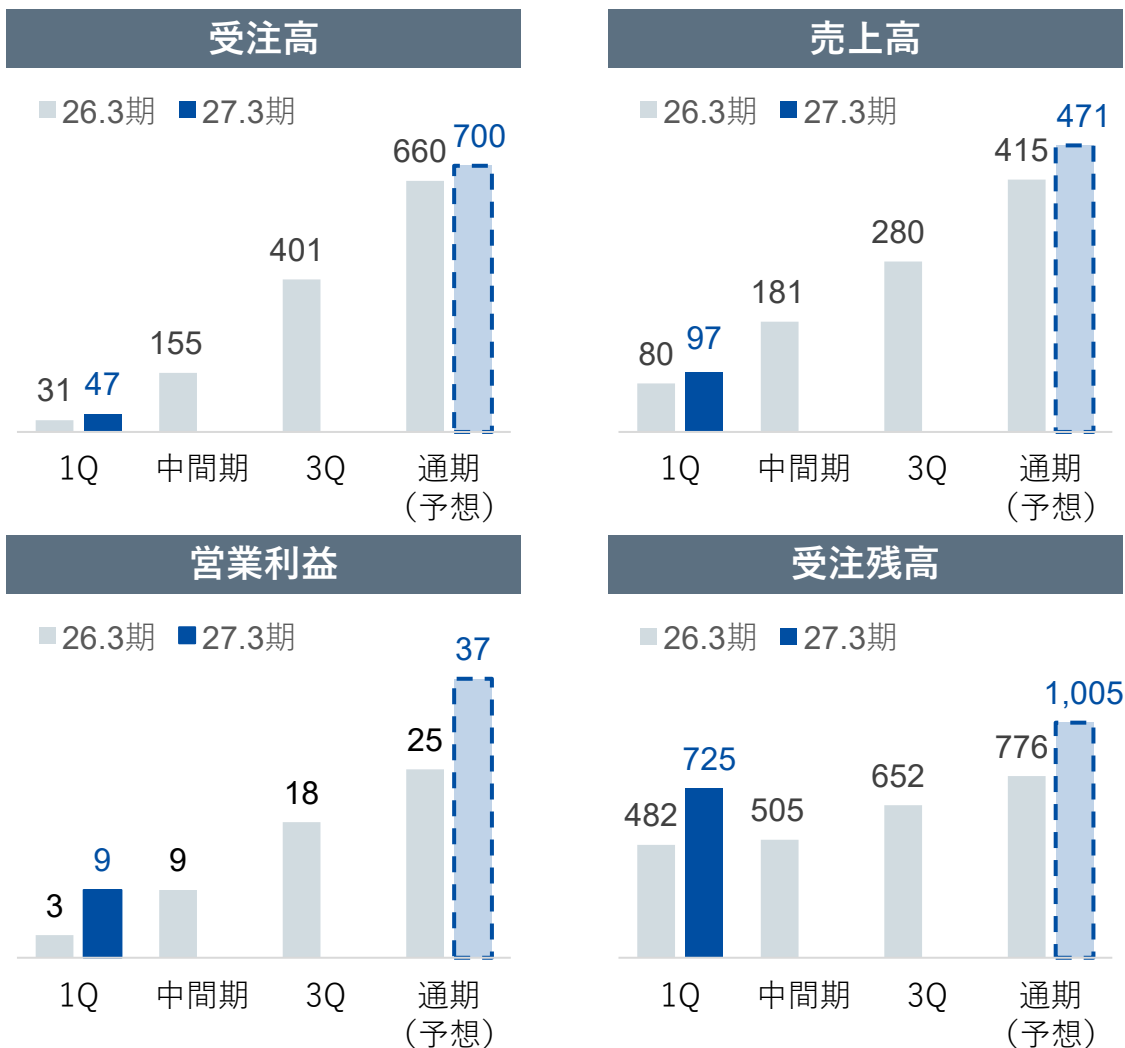
売上高

- 国内の増加 (システム製品)
- 海外の増加

営業利益

- 前年同期並みの水準

業績推移 (単位：億円)



第1四半期実績 (前年同期比)

受注高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネントの減少
民需関連：「G7500」受注機数増加

売上高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネントの減少
民需関連：「787」生産機数増加
為替の円安による増収

営業利益

増収による増益
為替の円安による増益

民需関連 生産機数

(単位：機)

	26.3期 1Q	27.3期 1Q
777/777X	7	7
787	13	23
G7500	9	11

2027年3月期 連結業績予想

2027年3月期 連結業績予想 サマリー

(単位：百万円)

	26.3期 実績	27.3期 予想		増減（増減率）			
		従来予想	修正予想※1	前期比		従来予想比	
受注高	327,046	329,700	330,000	+ 2,953	(+ 0.9%)	+ 300	(+ 0.1%)
売上高	285,024	312,400	310,000	+ 24,975	(+ 8.8%)	△2,400	(△0.8%)
営業利益	16,329	17,000	17,000	+ 670	(+ 4.1%)	—	(— %)
経常利益	16,324	15,500	15,500	△824	(△5.0%)	—	(— %)
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,507	10,500	10,500	△1,007	(△8.8%)	—	(— %)
受注残高	360,826	378,126	380,826	+ 20,000	(+ 5.5%)	+ 2,700	(+ 0.7%)
1株当たり年間配当金	56円	58円	58円	+ 2円		—	
DOE※2	3.1%	3.0%	3.0%	△0.1pt		—	
為替レート (1USドル)	151.1円	150.0円	150.0円※3				

※1 中東情勢の影響については、9月に収束することを前提とした影響額を考慮して算定しております。

※2 DOE = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり自己資本（期首期末平均）

※3 修正予想の為替レートについては、8月以降の前提レートを表示しています。

従来予想比

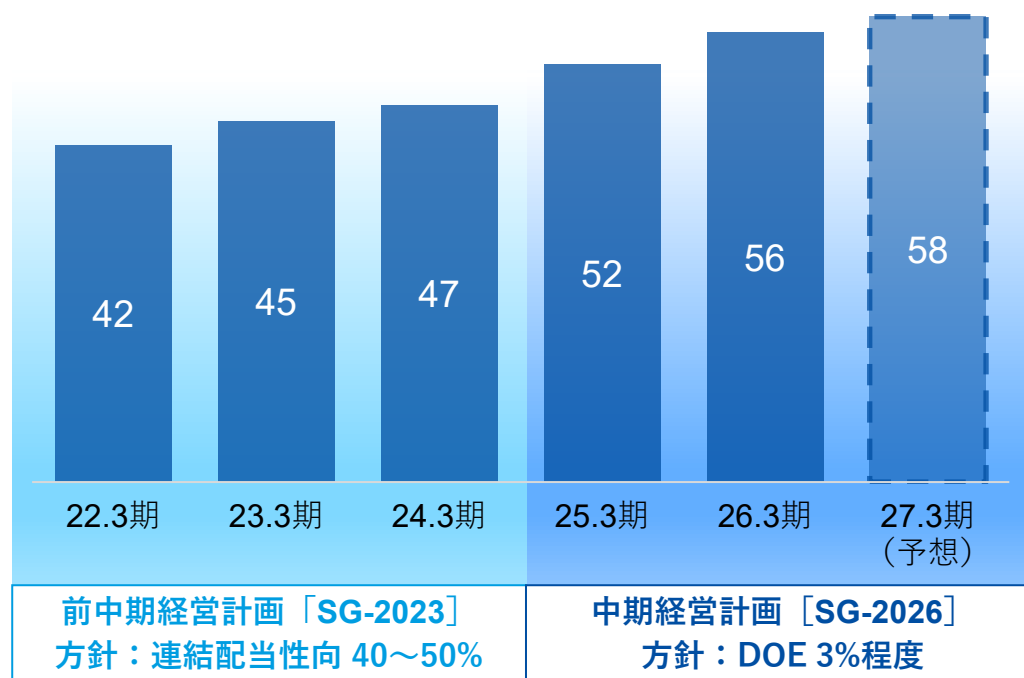
- 業績予想は、従来予想から受注高を上方修正、売上高を下方修正。セグメント別内訳はスライド17参照。
- 各利益項目は従来予想から据え置き。

為替感応度（8月以降）

1円/USドルの円安進行で
約0.6億円の営業利益増

- 安定的かつ継続的な増配の実施に向け、中期経営計画[SG-2026]期間中は、DOE3%程度を目途に配当を実施する方針。
- 財務健全性の基準（適正な自己資本水準）としては、自己資本比率40%以上・ネットD/Eレシオ0.5倍以内が適切と考えており、その維持に努めていく。

■ 1株当たり年間配当金（円）



配当予想

- 1株当たり年間配当は**58円**（DOE3.0%）で期初計画から据え置き。
- 前期比で**2円増配**予定。
- **6年連続で増配**予定。

2027年3月期 連結業績予想 セグメント別（前期比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	26.3期 （実績）	27.3期 （予想）	増減	26.3期 （実績）	27.3期 （予想）	増減	26.3期 （実績）	27.3期 （予想）	増減
特装車	1,283	1,175	△108	1,175	1,233	+ 57	61	62	+ 0
パーキングシステム	451	603	+ 151	507	533	+ 25	49	46	△3
産機・環境システム	336	339	+ 2	273	375	+ 101	5	12	+ 6
流体	306	293	△13	299	290	△9	46	43	△3
航空機	660	700	+ 39	415	471	+ 55	25	37	+ 11
その他	231	190	△41	178	197	+ 19	15	14	△1
調整額	—	—	—	—	—	—	△41	△45	△3
合計	3,270	3,300	+ 29	2,850	3,100	+ 249	163	170	+ 6

2027年3月期 連結業績予想 利益増減明細（前期比）

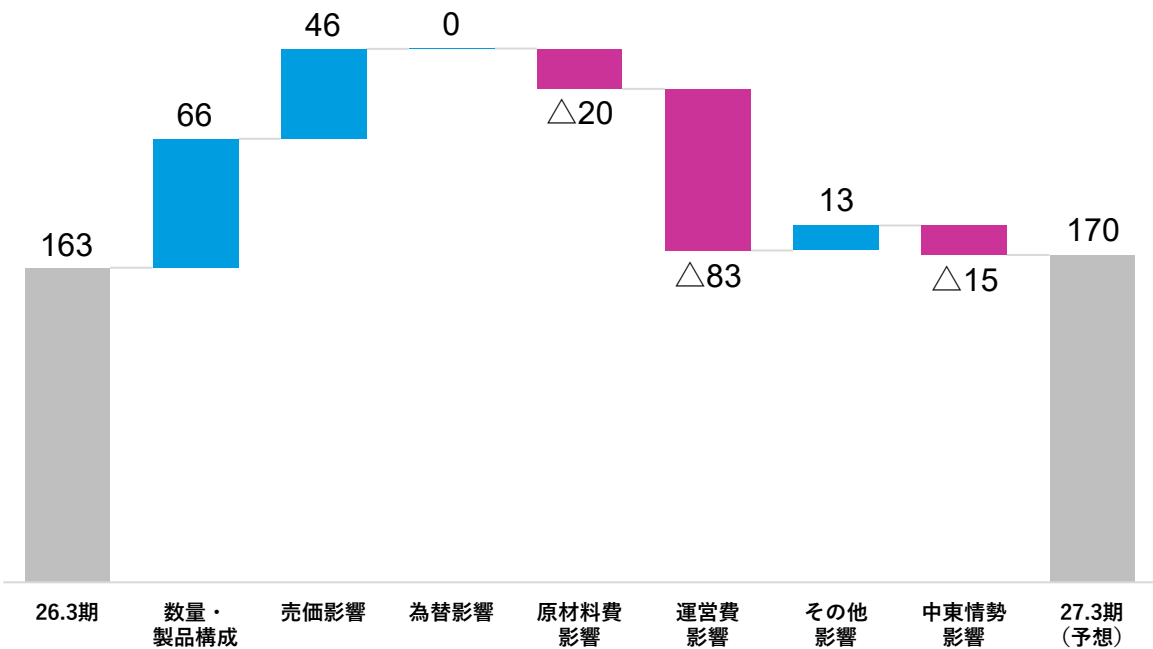
要因別

運営費増加(人件費、減価償却費他)△83億円や原材料費増加△20億円、中東情勢の影響△15億円などの減益要因を見込むも、数量・製品構成差による増益+66億円や、「特装車」を中心とした売価改定効果+46億円などにより、全体では増益となる見通し。

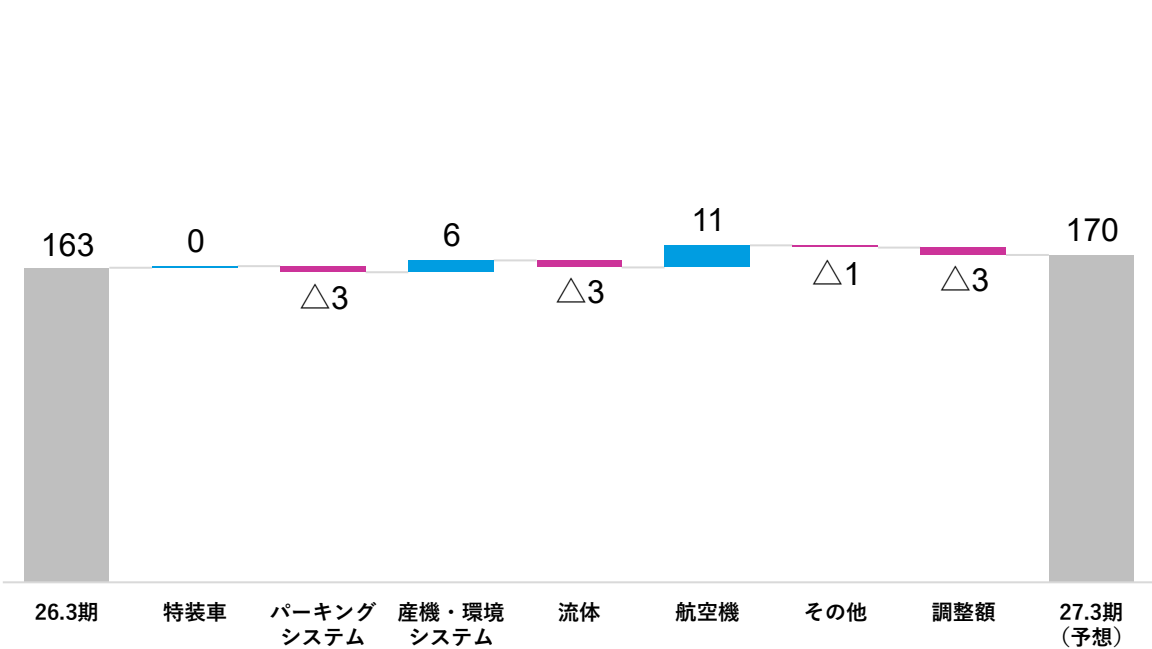
事業別

運営費の増加等により「パーキングシステム」「流体」でそれぞれ△3億円を見込むも、「航空機」で民需関連の増収による増益等により+11億円、「産機・環境システム」でメカトロニクス製品の増益等により+6億円を見込むことから、全体では増益となる見通し。

27.3期（予想） 前期比 要因別 単位：億円



27.3期（予想） 前期比 事業別 単位：億円



2027年3月期 連結業績予想 セグメント別（従来予想比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	27.3期 （従来予想）	27.3期 （修正予想）	増減	27.3期 （従来予想）	27.3期 （修正予想）	増減	27.3期 （従来予想）	27.3期 （修正予想）	増減
特装車	1,161	1,175	+ 13	1,244	1,233	△11	66	62	△4
パーキングシステム	670	603	△67	550	533	△17	45	46	+ 0
産機・環境システム	372	339	△33	384	375	△9	13	12	△1
流体	293	293	—	290	290	—	43	43	—
航空機	611	700	+ 89	459	471	+ 12	34	37	+ 3
その他	189	190	+ 0	196	197	+ 1	13	14	+ 1
調整額	—	—	—	—	—	—	△46	△45	+ 1
合計	3,297	3,300	+ 3	3,124	3,100	△24	170	170	—

補足資料

商号	新明和工業株式会社
本社	兵庫県宝塚市新明和町1-1
設立	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
代表者	取締役社長 櫛原 敬士（くにはら たかし）
従業員数	連結 7,539名 単体 3,791名（2026年6月末現在）
連結子会社	30社

セグメント別 売上高 構成比 (26.3期)

航空機



その他

6%

特装車



流体



産機・環境システム



売上高合計
285,024百万円

15%

11%

10%

18%

41%

パーキングシステム



経営成績

	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期
売上高（百万円）	201,204	207,335	217,297	227,231	209,226	216,823	225,175	257,060	266,441	285,024
営業利益（百万円）	13,067	10,594	10,708	12,836	10,479	10,569	9,293	11,765	13,970	16,329
売上高営業利益率（％）	6.5	5.1	4.9	5.6	5.0	4.9	4.1	4.6	5.2	5.7
経常利益（百万円）	13,244	10,752	10,437	12,375	11,182	11,821	9,902	12,106	13,536	16,324
売上高経常利益率（％）	6.6	5.2	4.8	5.4	5.3	5.5	4.4	4.7	5.1	5.7
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	8,954	7,086	6,996	7,378	5,487	6,907	7,313	7,279	8,957	11,507
売上高当期純利益率（％）	4.5	3.4	3.2	3.2	2.6	3.2	3.2	2.8	3.4	4.0
ROE（％）	7.7	5.8	6.8	8.9	6.4	7.7	7.6	7.1	8.2	9.7
ROIC※（％）	7.7	6.0	5.8	6.5	5.1	5.1	4.4	5.3	6.0	6.7

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

財政状況

	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期
総資産（百万円）	188,632	199,001	209,195	214,157	212,060	221,206	226,907	260,102	266,443	296,056
総資産回転率（回）	1.07	1.10	1.09	1.07	0.98	1.00	1.00	1.06	1.01	1.01
自己資本（百万円）	118,268	124,893	82,340	82,946	87,945	92,465	98,747	107,008	112,027	124,881
自己資本比率（％）	62.7	65.7	39.4	38.7	41.5	41.8	43.5	41.1	42.0	42.2
有利子負債（百万円）	150	90	49,893	57,568	54,539	52,254	52,417	50,616	51,198	48,960
ネットD/Eレシオ（倍）	△0.16	△0.15	0.32	0.46	0.36	0.28	0.30	0.25	0.20	0.10

キャッシュ・フロー

営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	14,342	8,699	13,452	8,509	18,120	15,998	6,404	14,065	20,499	24,364
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△6,039	△7,076	△9,693	△12,408	△9,133	△7,221	△7,164	△8,217	△10,806	△10,571
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△6,619	△1,647	△526	1,419	△5,972	△5,203	△4,108	△5,884	△5,115	△6,259
現金及び現金同等物の 期末残高（百万円）	18,772	18,750	21,952	19,342	22,667	26,549	22,535	22,891	28,282	35,898

その他

	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期
受注高（百万円）	209,734	230,555	237,902	221,878	199,308	263,163	267,159	291,370	291,499	327,046
受注残高（百万円）	132,742	156,185	177,310	171,925	161,686	210,338	255,859	291,431	318,778	360,826
1株当たり配当金（円）	14	23	45	87	38	42	45	47	52	56
配当性向（％）	15.0	31.0	58.9	76.9	45.5	40.0	40.5	42.6	38.3	32.2
1株当たり当期純利益（円）	93.17	74.23	76.41	113.11	83.47	104.96	111.00	110.38	135.61	174.02
設備投資（百万円）	6,854	6,525	6,442	7,100	9,205	4,782	4,465	6,891	6,541	10,468
減価償却費（百万円）	4,763	5,025	5,064	5,442	5,768	5,564	5,321	5,225	5,648	6,170
研究開発費（百万円）	2,717	2,836	2,575	2,401	2,356	2,282	2,476	2,602	3,345	3,790
従業員数（人）	4,726	4,773	5,037	5,075	5,288	5,783	5,932	6,181	6,473	7,313
海外売上高（百万円）	43,076	42,556	42,899	43,250	27,108	31,022	46,382	53,219	45,122	46,650
海外売上高比率（％）	21.4	20.5	19.7	19.0	13.0	14.3	20.6	20.7	16.9	16.4

業績の推移 セグメント別①

(単位：百万円)

セグメント	項目	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期
特装車	受注高	89,722	91,303	107,463	101,012	94,246	118,662	114,151	106,773	122,508	128,366
	売上高	89,304	90,317	92,333	94,627	94,777	97,190	91,311	100,523	108,204	117,583
	営業利益	8,348	6,313	6,544	6,802	6,707	5,354	707	2,313	4,899	6,166
	営業利益率 (%)	9.3	7.0	7.1	7.2	7.1	5.5	0.8	2.3	4.5	5.2
パーキングシステム	受注高	31,561	55,017	35,797	36,275	37,332	38,133	39,901	54,360	44,141	45,142
	売上高	31,145	31,979	33,863	37,805	35,228	38,099	38,627	41,338	45,748	50,745
	営業利益	1,850	1,780	2,343	3,223	3,228	3,066	2,686	2,765	3,333	4,922
	営業利益率 (%)	5.9	5.6	6.9	8.5	9.2	8.0	7.0	6.7	7.3	9.7
産機・環境システム	受注高	29,209	30,424	38,533	42,685	36,980	37,052	48,805	52,600	36,489	33,662
	売上高	29,451	30,099	33,810	38,370	37,195	25,560	33,425	42,985	33,270	27,323
	営業利益	2,219	2,468	2,474	2,748	2,989	1,724	2,923	3,359	2,208	571
	営業利益率 (%)	7.5	8.2	7.3	7.2	8.0	6.7	8.7	7.8	6.6	2.1

※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

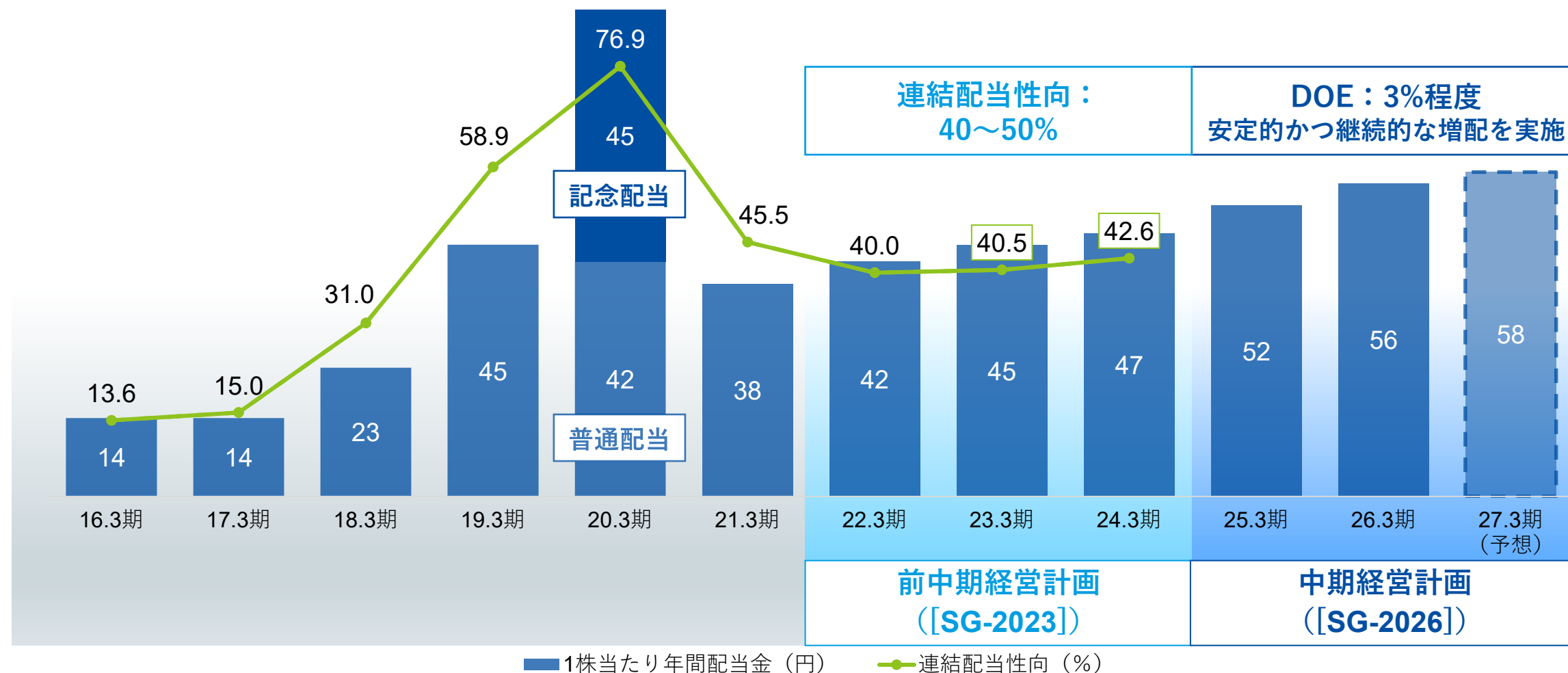
業績の推移 セグメント別②

(単位：百万円)

セグメント	項目	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期
流体	受注高						22,130	25,165	26,344	28,693	30,678
	売上高						20,787	24,485	26,330	27,512	29,986
	営業利益						3,151	3,916	4,103	4,382	4,679
	営業利益率 (%)						15.2	16.0	15.6	15.9	15.6
航空機	受注高	43,741	40,803	35,772	30,393	13,378	31,711	24,187	32,690	42,891	66,023
	売上高	39,028	40,699	43,635	38,950	25,957	19,137	23,136	31,915	33,706	41,558
	営業利益	2,000	1,368	649	1,551	△808	△875	1,397	2,187	1,970	2,593
	営業利益率 (%)	5.1	3.4	1.5	4.0	△3.1	△4.6	6.0	6.9	5.8	6.2
その他	受注高	15,498	13,005	20,336	11,511	17,371	15,472	14,945	18,600	16,774	23,172
	売上高	12,274	14,239	13,654	17,476	16,066	16,047	14,188	13,968	18,000	17,827
	営業利益	960	1,049	1,037	1,193	1,445	955	739	667	1,462	1,512
	営業利益率 (%)	7.8	7.4	7.6	6.8	9.0	6.0	5.2	4.8	8.1	8.5

※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

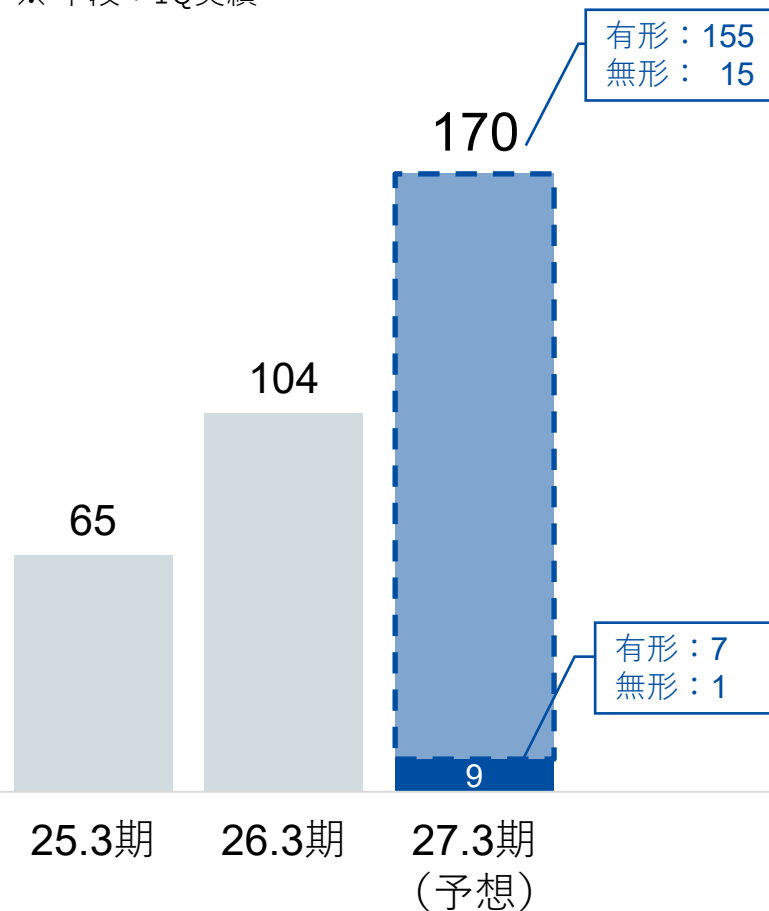
1株当たり配当金と連結配当性向の推移



設備投資額/減価償却費/研究開発費

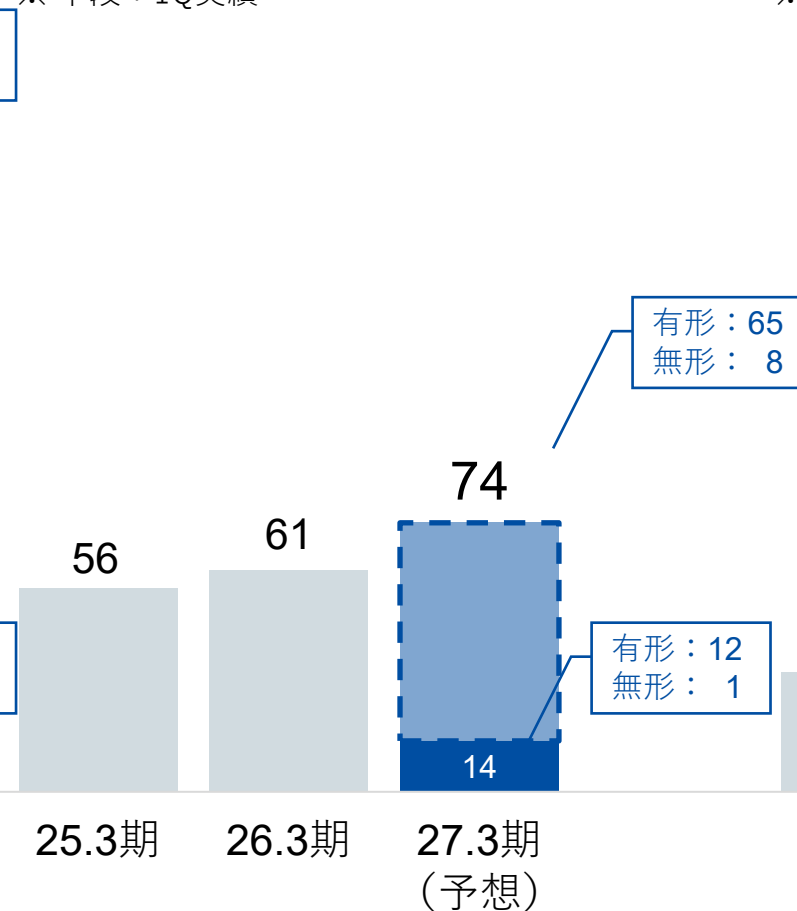
設備投資額 (単位：億円)

※ 下段：1Q実績



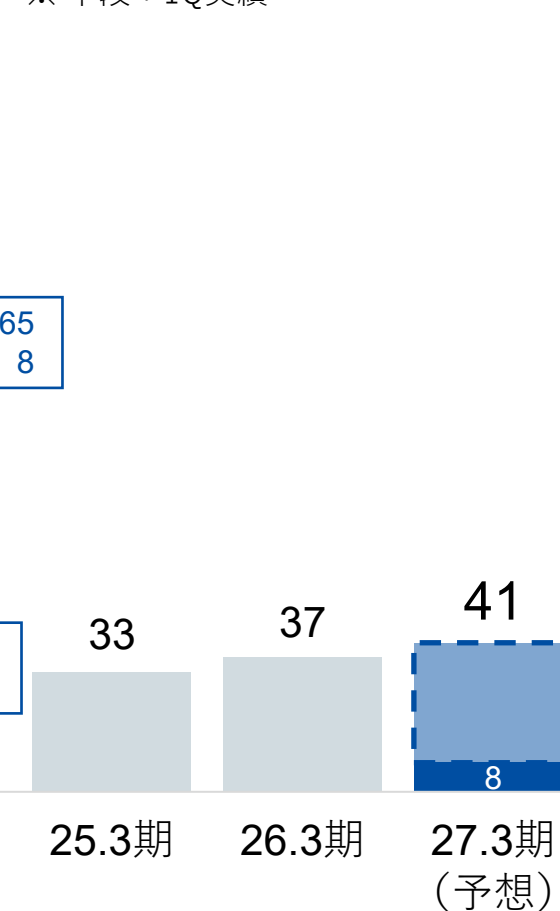
減価償却費 (単位：億円)

※ 下段：1Q実績



研究開発費 (単位：億円)

※ 下段：1Q実績



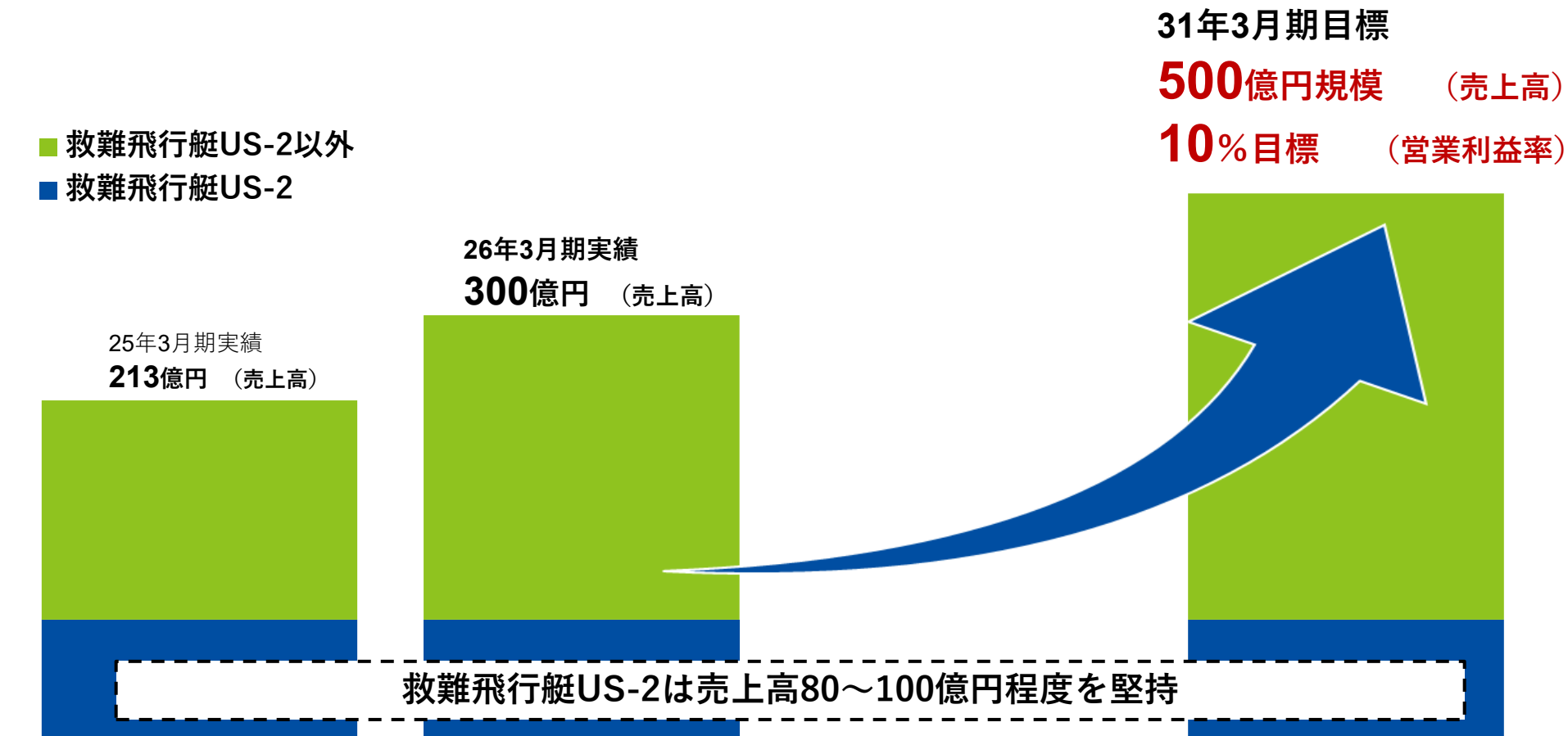
海外売上高 セグメント別

(単位：億円)

	特装車			パーキングシステム			産機・環境システム			流体			航空機			その他			合計		
	26.3期1Q	27.3期1Q	増減	26.3期1Q	27.3期1Q	増減	26.3期1Q	27.3期1Q	増減	26.3期1Q	27.3期1Q	増減	26.3期1Q	27.3期1Q	増減	26.3期1Q	27.3期1Q	増減	26.3期1Q	27.3期1Q	増減
日本	246	270	+24	93	96	+3	34	39	+5	31	34	+3	41	36	△4	33	33	△0	480	510	+30
アジア	2	2	+0	11	14	+2	12	8	△4	11	10	△0	—	—	—	—	—	—	38	35	△2
北米	—	—	—	—	—	—	5	2	△2	2	4	+2	34	57	+22	—	—	—	41	64	+22
その他	7	6	△0	—	—	—	1	2	+0	1	1	+0	4	4	△0	—	—	—	15	14	△0
顧客との契約から生じる収益	256	279	+23	104	110	+5	54	52	△1	45	51	+5	80	97	+17	33	33	△0	575	625	+50
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	+0	1	1	+0
売上高合計	256	279	+23	104	110	+5	54	52	△1	45	51	+5	80	97	+17	35	34	△0	576	627	+50
海外売上高比率 (%)	4.0	3.4	△0.6 pt	11.1	12.8	+1.7 pt	36.5	24.8	△11.7 pt	31.7	32.7	+1.0 pt	48.5	62.8	+14.3 pt	0	0	—	16.5	18.3	+1.8 pt

防衛予算の増額および防衛生産基盤の強化に関する政策を追い風に、売上高・利益率ともに拡大を目指します。
当社は救難飛行艇US-2を基幹製品とし、これまでの事業で培った技術、製品、サービスを基に防衛関連事業の強化を図ります。
2027年3月期以降は飛しょう体および兵站関連への取り組みを強化し、防衛事業のさらなる拡大を推進してまいります。

- 救難飛行艇US-2以外
- 救難飛行艇US-2



飛しょう体関連 (誘導弾+地上装置)

極超音速誘導弾



出所：防衛省

新規誘導弾開発において、2025年3月期より大手顧客からコンポーネントを受注し、設計・試作作業を開始しております。
また、誘導弾関連需要の拡大を踏まえ、新規誘導弾分野での開発参画および量産品受注の拡大に取り組み、防衛事業の成長につなげてまいります。

特装車事業で培った車両架装・構造設計技術を活用し、「25式地对艦誘導弾」および「25式高速滑空弾」に用いられる発射機的设计・試作に参画しております、2027年3月期からは量産対応を予定しております。
今後、誘導弾の需要拡大および多様化を見据え、発射機システムへの様々なニーズに応えることで、防衛事業の拡大を図ってまいります。



25式地对艦誘導弾発射機
出所：防衛省



25式高速滑空弾発射機
出所：防衛省

兵站関連 (設備+車両)

「モバイルコンテナベース」は、当社が中心となって企画・全体の取りまとめを行い、NTN株式会社様、船山株式会社様、新明和工業株式会社様の3社で協業して開発したものです。本製品は、このたび航空自衛隊様に採用されました。
本製品は、宿泊設備や衛生設備などを備えた複数のコンテナを組み合わせることで、生活基盤として活用できるものです。あわせて、航空自衛隊様に採用された海上コンテナ脱着車を用いることで、必要な場所へ迅速に展開することが可能です。展開先での運用に加え、災害対応拠点としての活用も想定されています。



モバイルコンテナベース

車両分野では、特装車セグメントが持つ特装技術を生かし、部隊の後方支援を担う製品の展開を進めています。グループ会社の東邦車輛株式会社は、陸上自衛隊様向け車両として「セミトレーラ」などの納入実績を有しています。今後は、既存車両の継続受注に加え、陸上自衛隊様向けの海上コンテナ脱着車の提案も進めてまいります。また、2027年3月期に受注した「92式浮橋用車両」の改修・新造案件にも取り組んでいきます。



セミトレーラ



海上コンテナ脱着車
※イメージ



92式浮橋用車両

救難飛行艇US-2 (製造 + 修理)

救難飛行艇US-2(以下、US-2)は、優れた短距離離着水性能と外洋での運用能力を備え、我が国の水難救難体制を支える重要な装備です。当社は、US-2の開発・製造に加え、定期修理(オーバーホール)や、補用部品の生産を担い、機体の安定運用を支えています。

9号機は2026年2月に引き渡し、2026年3月期には10号機の契約を締結しました。今後も新たな製造契約締結に向けた取り組みを進めるとともに、定期修理、補用部品の供給、技術支援を通じて、US-2の運用基盤の強化に取り組んでまいります。



救難飛行艇 US-2

新明和岩国航空整備株式会社

グループ会社の新明和岩国航空整備株式会社は、海上自衛隊岩国航空基地内において、US-2の定期修理以外の機体および関連装備品の定期整備作業と計画外整備作業を担っています。

同社では、艇体の点検や板金作業、エンジン・プロペラ、電子機器の点検など、飛行艇特有の要求に対応した整備を実施しています。これらの作業により、US-2に求められる即応性と信頼性を確保し、救難任務の継続的な遂行を支えています。



新明和岩国航空整備(株)での飛行艇整備



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら

当社は、投資家の皆さまに当社をより深くご理解いただくことを目的として、株式会社シェアードリサーチに投資に必要な情報を網羅した調査レポートの作成を依頼しております。

調査レポートは、企業分析と当社グループへの取材による情報を、投資家目線で中立かつ客観的に作成されており、決算発表やプレスリリース等に基づき、適宜更新されます。

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/7224>

当社事業の理解促進にお役立て下さい。



IRメール配信サービスご登録のお願い

新明和ってどんな会社？



個人投資家の皆様へ >
主要事業をわかりやすくご紹介しています。



研究開発 >
都市・輸送・環境インフラの高度化に取り組んでいます。



サステナビリティ >
経営方針やESGに関する活動を報告しています。



沿革 >
歴史映像や、創業100周年を記念して制作した歴史コミックをご覧ください。



動画ライブラリー >
会社案内や製品を動画でご紹介しています。



ShinMaywa INSIGHT >
社会と暮らしをより安全、便利、スムーズに変えていく新明和グループの取り組みをご覧ください。

IR問い合わせ先

ディスクロージャー・ポリシー

免責事項



個人投資家の皆様へ >
新明和グループを、より知っていただける情報をご案内します。



企業と投資家をツナグ RIMSNET
IR 情報 メール 配信
配信のご登録はこちら



Shared Research
シェアードリサーチ社による当社の調査レポートはこちらをご覧ください。

当社の企業ニュースや財務活動をEメールでタイムリーにお知らせしています。

以下URLからアクセスできますので、ぜひご登録ください。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=7224>



本資料は、新明和工業株式会社（以下「当社」といいます。）またはそのグループ会社（以下「当社グループ」といいます。）に関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報（以下「将来情報」といいます。）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社